

別記様式（第2条関係）

会 議 結 果 報 告 書

令和4年11月21日

会議の名称	志木市公共施設等マネジメント検討委員会（令和4年度第2回）
開催日時	令和4年11月15日（火）9時00分～10時00分
開催場所	志木市役所 3階 庁議室
出席者委員	【検討委員会メンバー】（※進行者） 委員長：香川市長（※） 副委員長：櫻井副市長 委員：村山総合行政部長、豊島総務部長、松井市民生活部長、中村福祉部長、大熊子ども・健康部長、中森都市整備部長、松永市長公室長、榎本会計管理者、細田上下水道部長、北村議会事務局長、近藤監査委員事務局長兼選挙管理委員会事務局長、今野教育政策部長 （計14人）
欠席者職氏名	副委員長：柚木教育長 （計 1人）
説明員職氏名	浅見公共施設マネジメント推進室長 （計 1人）
議 題	（1）志木市民会館・志木市民体育館再整備基本設計の報告及び今後のスケジュールについて （2）今後の公共施設マネジメントについて
結 果	志木市民会館・志木市民体育館再整備基本設計について、概要版に基づき、全体的な配置図やこれまでの取組を報告するとともに、今後の運用開始までのスケジュールについて共有を図った。 また、今後の公共施設マネジメントについて、前回（令和4年度第1回）会議において、マネジメント方策が決定した「秋ヶ瀬スポーツセンター、武道館」、「消防団第3分団車庫」、「郷土資料館」の進捗状況及び「志木市公共施設等マネジメント戦略」の改訂及び「志木市公共施設適正配置計画～第Ⅱ期 個別施設計画～」の策定に向けたスケジュールの共有を図った。
事務局職員職氏名	浅見公共施設マネジメント推進室長、松田政策推進課長、渋谷公共施設マネジメント推進室主席主幹、吉田公共施設マネジメント推進室主幹、小高公共施設マネジメント推進室主査
その他必要事項	

会議内容の記録（会議経過、結論等）

1 開会

委員長が会議の開会を告げる。

2 審議事項（検討委員会メンバーは委員と表記する。）

（1）志木市民会館・志木市民体育館再整備基本設計の報告及び今後のスケジュールについて

浅見公共施設マネジメント推進室長より、基本設計概要版に基づき概要を説明後、質疑応答を行った。主な報告内容は次の通り。

○計画コンセプト

「みんなに愛され、だれもが主役になれる。そんな場所を、志木市らしい市民力を活かした活動を通じてつくります。」を基本理念に、「志木市の未来と歴史文化を大事に、市民に親しまれ、市民力を育む複合施設」を施設コンセプトとして、基本設計を実施したところである。設計に当たっては、これまで基本計画策定に携わられた学識経験者や各種団体関係者に、市民力人材バンクや市内の高校生など、新たな参加者に加え、ホワイエと一体的にできるホールや共用部分の新たな使い方などをテーマにワークショップを実施した。

○各室計画

ホールについては可動席を収納することで平土間として利用できるほか、田子山富士塚からの景観配慮として、フライタワーを無くすことで、高さを抑えた。

アリーナ等の運動施設については、利用団体のヒアリングに基づき、現施設と同程度の広さと使い勝手を確保するとともに、アリーナの床材をフローリングからスポーツ用の塩ビシートとすることで、メンテナンス性の向上を図っている。また、2階の観客席部分にはランニングコースを設けている。

1階多目的室については現市民会館の宴会場（203～205）と同程度の広さを確保している。また、3階には4つの会議室を配置し、うち2部屋は防音仕様とすることで、音楽活動にも対応した部屋となっている。

○その他

建築環境SDGsチェックリスト評価結果については、5段階中3段階の評価となっている。また、BCP計画として、災害発生時には、志木市と防災協定締結先との救助物資の集配拠点となりえる施設計画とす

るほか、自家発電及び上水については72時間供給できる程度の備蓄量を確保する計画とする。

○今後のスケジュールについて

基本設計については、令和4年11月22日（火）に議員説明会で報告する。以降は近隣住民及び関係団体等へ説明を行っていく。

実施設計については、確認申請等も含め、令和4年11月から令和5年度末までの契約を締結する予定である。

解体工事については令和5年度に契約を行い、年度中の完了を予定している。建設工事にあたっては、業者選定は新庁舎建設と同様に総合評価方式での選定を予定しており、令和6年度上旬頃までに事業者の決定を目指す。

新施設としての条例制定や開設準備については、本市でも前例のない複合施設であることから、運用方法など十分に検討するために、令和5年度から検討を進め、令和8年度中の開設を目指す。

委員：基本計画ではフライタワーを無くすとのことだが、その分コストはかかるのか。コスト面から元の20mの高さに戻す可能性はあるのか。

説明者：フライタワーを無くす手法の方が、コストを抑えられるため元の高さとする予定はない。

委員長：ランニングコストの試算はいつ行うのか。

説明者：実施設計で行う。

委員長：コストについては大きな課題であるが、削減しすぎて、質の低下につながらないようにすること。

説明者：今後の物価動向を注視しながら検討していく。

委員：卓球場の床は塩ビか。

説明者：塩ビである。

委員：上水については72時間供給できる程度の備蓄量を確保するとのことだが、受水槽の大きさは一般的なものより大きいのか。

説明者：若干大きくなるイメージである。

（2）今後の公共施設マネジメントについて

浅見公共施設マネジメント推進室長より、概要を説明後、質疑応答を行った。概要については次の通り。

○概要

令和4年5月10日開催「志木市公共施設等マネジメント検討委員会 令和4年度第1回会議」において、マネジメント方策が決定した「秋ヶ瀬スポーツセンター、武道館」、「消防団第3分団車庫」、「郷土資料館」の進捗状況は次の通りである。

- ・秋ヶ瀬スポーツセンター、武道館
令和5年度に基本計画を策定予定。
- ・消防団第3分団車庫
令和5年度に設計を実施予定。
- ・郷土資料館
令和5年度以降設計を実施予定。

また、国より公共施設等総合管理計画の策定にあたっての指針が改訂されたことから、本市においても、「志木市公共施設等マネジメント戦略」を改訂する必要がある。また、本市の「志木市公共施設適正配置計画～第Ⅰ期 個別施設計画～」の計画期間は令和6年度までとなっていることから、第Ⅱ期計画の策定が必要である。

これらを踏まえ、令和5年度から2か年に渡り「志木市公共施設等マネジメント戦略」の改訂及び「志木市公共施設適正配置計画～第Ⅱ期 個別施設計画～」の策定を進める。

※質問なし

3 閉会

委員長が会議の閉会を告げる。

備考 会議内容の記録には、発言者の立場を明記するとともに、発言の趣旨が容易に理解できるよう簡潔明瞭に記載すること。